

水稻の8月上旬の巡回調査結果の概要

【東北信】 調査日 8月3日、4日、5日

＜東北信地域の巡回調査ほ場：東信15ほ場、北信14ほ場、計29ほ場＞

1 葉いもち

- (1) 発病地点率は、東信地域及び北信地域ともにほぼ平年並であった。
- (2) 上位葉（止葉および次葉）の発病株率は、平年と比べかなり少なかったが、ほ場内ではごく僅かに上位葉で発生がみられた（写真1）。
- (3) 発病度は、東信地域及び北信地域ともに平年と比べ低かった。



写真1 上位葉まで進展した葉いもち（東信地域）

2 紋枯病

- (1) 発生地点率は、東信地域では平年と比べ低かったが、北信地域では平年並であった。
- (2) 発病株率は、東信地域では平年と比べ低かったが、北信地域では平年と比べ高かった（写真2）。



写真2 紋枯病（北信地域）

3 白葉枯病

巡回調査ほ場での発病は確認されなかった。

4 ウンカ類・ツマグロヨコバイ

(1) ヒメトビウンカ

- ア すくい取り調査（ネット20回振）における成虫及び幼虫の発生地点率は、東信地域及び北信地域ともに平年と比べ高かった。
- イ すくい取り調査における平均捕獲頭数（成虫）は、東信地域では平年と比べ低かった一方、北信地域では平年と比べ高かった。
- ウ 25株払落し調査における平均捕獲頭数（成虫及び幼虫）は、東信地域では平年と比べ少なかった一方、北信地域では平年と比べやや多かった。

(2) セジロウンカ

ア すくい取り調査における成虫の発生地点率は、東信地域及び北信地域ともに平年と比べ低かった。

イ すくい取り調査における平均捕獲頭数（成虫）は、東信地域及び北信地域ともに平年と比べ少なかった。

ウ 25 株払落し調査における成虫の平均捕獲頭数は、東信地域及び北信地域ともに平年と比べ少なかった。幼虫は、東信地域及び北信地域ともに捕獲されなかった。

(3) トビイロウンカ

巡回調査ほ場では捕獲されなかった。

(4) ツマグロヨコバイ

ア すくい取り調査における成虫の発生地点率は、東信地域及び北信地域ともに平年と比べ高かった。

イ すくい取り調査における捕獲頭数（成虫＋幼虫）は、東信地域ではほぼ平年並、北信地域は平年と比べ少なかった。

ウ 25 株払落し調査における平均捕獲頭数（成虫＋幼虫）は、東信地域では平年と比べて多く、北信地域では平年と比べて少なかった。

5 斑点米カメムシ類

(1) すくい取り調査による発病地点率は、東信地域及び北信地域ともに平年と比べ高かった。

(2) すくい取り調査による平均捕獲頭数は、東信地域及び北信地域ともに平年と比べ多かった。

(3) 斑点米カメムシ類の種類は、アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、ホソハリカメムシであった。

6 その他

(1) イナゴ

ア すくい取り調査による発生地点率は、東信地域及び北信地域ともに平年と比べ低かった。

イ すくい取り調査による平均捕獲頭数は、東信地域及び北信地域ともに平年と比べ少なかった。

(2) クサキリ・ササキリ類

ア すくい取り調査による発生地点率は、東信地域では平年と比べ低く、北信地域では平年と比べ高かった。

イ すくい取り調査による平均捕獲頭数は、東信地域及び北信地域ともに平年と比べ多かった。

(3) フタオビコヤガ幼虫（イネアオムシ）

ア すくい取り調査による発生地点率は、東信地域及び北信地域ともに平年と比べ低かった。

イ すくい取り調査による平均捕獲頭数は、東信地域及び北信地域ともに平年と比べ少なかった。

ウ 25 株払落し調査による発生地点率は、東信地域ではほぼ平年並、北信地域では平年と比べ低かった。

エ 25 株払落し調査による平均捕獲頭数は、東信地域及び北信地域ともに平年と比べ少なかった。

(4) 8 月上旬に実施した水稻の巡回調査とは別途行った調査において、調査地点周辺の開花期を迎えた大豆ほ場でブチヒゲカメムシ、イチモンジカメムシの寄生がみられた（写真 3）。



写真3 ブチヒゲカメムシ（北信地域）

【中南信】 調査日 8月3日、4日、5日、6日、7日

＜中南信地域の巡回調査ほ場：南信 15 ほ場、中信 17 ほ場、計 32 ほ場＞

1 葉いもち

- (1) 発病地点率は、南信地域では平年と比べ低かった。中信地域の巡回調査では発病は確認されなかった。
- (2) 上位葉（止葉および次葉）への病斑形成株は巡回調査ではなかったが、調査ほ場内の一部で発生を確認した。
- (3) 発病度は、南信地域で平年と比べやや低かった。

2 紋枯病

- (1) 発生地点率は、中信地域で平年と比べ低く、南信地域では巡回調査ほどの発生は確認されなかった。なお、両地域とも常習発生ほ場において下位葉鞘に病斑がみられた。
- (2) 発病株率は、中信地域で平年と比べ低かった。

3 白葉枯病

巡回調査ほ場での発病は確認されなかった。

4 ウンカ類・ツマグロヨコバイ

(1) ヒメトビウンカ

ア すくい取り調査（ネット 20 回振：以下同様）による発生地点率は、成虫で南信地域及び中信地域ともに平年と比べやや高く、うち短翅型成虫については高かった。また、幼虫については南信地域及び中信地域で平年と比べ高かった（写真 4）。

イ 成虫及び幼虫それぞれの平均捕獲頭数は、南信地域及び中信地域ともに平年と比べ多かった。

ウ 25 株払落し調査による成虫平均捕獲頭数は、南信地域で平年と比べやや多く、中信地域で少なかった。幼虫については、南信地域及び中信地域ともに少なかった。



写真4 上：ヒメトビウンカ雌成虫・短翅型

下：ホソハリカメムシ幼虫（南信地域）

(2) セジロウンカ

ア すくい取り調査による成虫発生地点率は、南信地域で平年と比べ低く、中信地域でやや低かった。幼虫は捕獲されなかった。

イ 25 株払落し調査による成虫平均捕獲頭数は、南信地域及び中信地域ともに平年と比べ少なかった。幼虫は捕獲されなかった。

(3) トビイロウンカ

巡回調査ほ場では捕獲されなかった。

(4) ツマグロヨコバイ

ア すくい取り調査による成虫発生地点率は、南信地域及び中信地域ともに平年と比べ多かった。

イ 平均捕獲頭数（成虫＋幼虫）は、南信地域では平年並、中信地域では平年と比べ多かった。

ウ 25 株払落し調査における平均捕獲頭数（成虫＋幼虫）は、南信地域で平年並、中信地域では平年と比べ少なかった。

5 斑点米カメムシ類

(1) すくい取り調査による発生地点率は、南信地域で平年と比べやや高く、中信地域で平年並だった。

(2) 平均捕獲頭数は、南信地域で平年と比べ多く、中信地域で平年並だった。

(3) 捕獲種については、アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ、ホソハリカメムシが広い地域でみられ、地域によってアカヒメヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシ類がみられた。なお、昨年に引き続き上伊那地域南部の巡回ほ場でクモヘリカメムシが捕獲された。

6 その他

(1) イナゴ

ア すくい取り調査による発生地点率は、南信地域で平年と比べやや低く、中信地域で低かった。

イ 平均捕獲頭数は、南信地域及び中信地域ともに平年と比べ少なかった。

(2) クサキリ・ササキリ類

ア すくい取り調査による発生地点率は、南信地域で平年並、中信地域でやや低かった。

イ 平均捕獲頭数は、南信地域及び中信地域ともに平年と比べ少なかった。

(3) フタオビコヤガ幼虫（イネアオムシ）

南信地域の巡回調査地点のうち 1 ほ場でみられた。

(4) イネツトムシによるツトが下伊那地域の晩生品種（天竜乙女）にみられた（写真 5）。



写真 5 イネツトムシのツト内部の終齢幼虫(南信地域)